

7月1日は旅の安全の日 この夏は、家族や仲間と海外へ――

感動体験で絆が強まる



illustration by Akira Sorimachi

いよいよ夏休み。異国の地に足を運び、目で見て肌で感じる旅は、一生の思い出になります。とはいえ、安心して楽しむには事前準備が大切。心かけておきたい旅の準備と同時に、この夏の旅の楽しみ方をご紹介します。この夏は旅を通して新しい世界と出会ってみませんか。

(イラスト:朝倉めぐみ/文:野間麻衣子)



お話を伺ったのは…
ツアーコンダクター 原好正さん

はら・よしまさ 45年間にわたる添乗日数は810回・8465日。120カ国以上を訪れ、英仏伊の3カ国語は通訳もこなす。永年勤続者国土交通大臣表彰、日本添乗サービス協会認定「ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー」受賞。食通としても知られる。

1 日本一の添乗員が教える 旅がこんなに楽しいワケ

夏本番を前に、海外旅行の計画にワクワクしている方も多いはず! 「旅は家族の絆を強める絶好のチャンス。異国で長時間を一緒に過ごすことで距離が縮まる姿をたくさん見てきました。」そう話すのは、年間200日以上を添乗員として海外で過ごす原好正さん。

「南仏の紺碧の海岸線は、一生忘れられない景色」「刻々と色を変えるグラウンド・キャニオンはどの瞬間も見逃せません」など、数多くの感動を旅行者と共有してきた。同じ場所をいくたび訪れても、季節や時間帯が違えば新しい発見が生まれると話す。

事前に旅先の文化や歴史を調べてワクワク感を分かち合うことで、経験や感動はよ



JATA 日本旅行業協会 (JATA)
旅行会社1184社(2017年5月時点)で構成され、会員各社、観光庁、外務省と連携し旅の安全管理に対する取り組みを推進しています。

旅を楽しむために、準備もしっかりと!

家族の安心・安全を守るのは、あなた。
外務省の「海外安全ホームページ」と「たびレジ」で万全の安全対策を!

日本は世界の中でも特別に安全な国。海外で日本と同じ感覚で行動すると、思わぬ犯罪被害に遭うことも。トラブル回避には、事前に旅先の安全情報を収集し、「意識を海外モードにする」ことが大切です。外務省の「海外安全ホームページ」では、各国の治安情勢や、犯罪、現地の習慣等の情報を入手できるので、出発までに必ずチェックしましょう。家族旅行ならなおのこと、安全対策のためのあなたの役割は重要です。

外務省の無料メール配信サービス「たびレジ」への登録もお忘れなく。旅先の最新の安全情報が日本語で届くほか、緊急時には登録情報を基に安否確認や必要に応じた支援が受けられます。



外務省「たびレジ」
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

海外安全ホームページ | [たびレジ](#) | [検索](#)

2 100%満喫するために 準備や現地で心がけたいこと

旅のノウハウも豊富な原さん。夏旅必需品ベスト3は、夏場の思わぬ冷えに「使い捨てカイロ」、もしものための「パスポートコピーのラミネート加工」、バスタブに栓がない際に役立つ「ゴムカバー」だそう。旅先では、財布やクレジットカードの盗難に遭って慌



てふためくツアー客の手続きに追われることも。「持参するカードは厳選し、必要最低限に」と呼びかける。

最近では自分で航空券やホテルを手配する人が増えているが、「個人旅行でも旅行会社をうまく利用すれば、トラブルリスクを軽減できる」という原さん。旅行会社の現地ガイドは最新スポットから裏道の治安情報まで精通。緊急時の日本語サポートも充実しているからだ。「口コミサイトの発展で観光地やレストラン情報が膨大になったが、玉石混濁、取捨選択できる力を養って」とアドバイスする。

かけがえのない思い出になるのはもちろん、親子で学び、絆を強くする海外旅行。この夏こそ、あなたも一生モノの体験をしてみませんか。

たとえば(ハワイ)でホテルで滑り頭部強打し7日間入院。看護師が付き添い医療搬送、家族も駆けつけた。支払保険金 / 381万円



お申込みは旅行会社または保険会社へ

- エイチ・エス損害保険(株) <http://www.hs-sonpo.co.jp/>
- 東京海上日動火災保険(株) <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>
- 三井住友海上火災保険(株) <http://www.ms-ins.com/>
- ジェイアイ傷害火災保険(株) <http://www.jihoken.co.jp/>
- Chubb損害保険(株) <http://www.chubb.com/jp>
- AIU損害保険(株) <http://www.aiu.co.jp/>
- (株)ジャタ <http://www.yu-jata.com/>

この夏必見! フランス、韓国、メキシコの政府観光局代表に聞きました

France

フランス観光開発機構 在日代表
フレデリック・マゼンクさん



@ Office de Tourisme de Ribeaucourt et Riquewihr

中世が残る美しい小さな村々へ

この夏はフランスの村々を訪ねる旅はいかが。断崖に中世の家々が建つ南西部の小さな集落サン・シル・ラポピーはどこも絵になる美しさ。フォアグラのおいしさでも有名です。アルザス地方のリクヴィルは木組みの街並みが愛らしく、ワインや名物クグロフを売るメインストリートをそぞろ歩けば、中世にトリップした気分させてくれます(写真)。ニースをはじめ地中海沿岸もベストシーズン。美食や見ごたえある美術館めぐりも楽しんで。

話題の江原道を取ります!

2018平昌冬季オリンピック・パラリンピックの開催地・江原道をいち早く訪ねてみませんか。水上競技が行われる江陵、海に最も近い駅と言われる正東津駅から出発する美しい海岸線を走る海列車の旅が大人気。座席が海を向き、大きな窓が開放感抜群。メイン会場の平昌アルペンシニアリゾートでは豊かな自然を一望できるスキージャンプ台に上り、選手気分を味わうのはいかが? 海山の幸が豊富なこの地ならではの郷土料理もぜひ味わって。

Korea

韓国観光公社東京支社長
申相龍さん



Mexico

メキシコ観光局 駐日代表
ギジェルモ・エギアルテさん



@ Mexico Tourism Board / Photo/Ricardo Espinosa-reo

マヤの遺跡と水中美術館にぜひ

ユカタン半島に栄えたマヤ文明最大の遺跡チチェン・イツァアは、広大なジャングルの中に巨大なピラミッド、天文台など高度な文明が築いた遺跡が点在する世界遺産。夏は太陽の光と影のコントラストが強く、写真を撮る方にも適した季節です。新スポットとしてご紹介したいのはカンクンの海底に広がる水中美術館。海中生物が育ちやすい素材で作られた500以上の彫刻が浅瀬に沈められ、自然とアートが共存する幻想的な光景に出会えます。